

～在宅医療用語集作成にあたって～

平成25年4月

津島市では、国から委託を受け、モデル事業である「在宅医療連携拠点事業」に取り組んでおります。

その一環として実施したアンケートで、介護従事者の多くが在宅医療に関する学習ニーズを持っていることが分かりました。

この「在宅医療用語集」は、在宅医療を支える多職種の連携を進めるため、主に、介護従事者を対象として作成しました。

特徴として、会議などでよく使われる用語・退院時サマリーに記載されている用語の意味、それに関するケアのポイントなどを取り上げました。

可能な限り平易な言葉で表現し、マニュアルとしても活用できるようにしました。同時に、医療機器などの画像も添えてイメージ化ができるようにしておりますので、自己学習のツールとして活用していただければ幸いです。

作成にあたって、格別のご指導をいただいた、津島市民病院救急医療部長の松永宏之先生と、訪問看護ステーションの看護師の皆さんに、紙面を借りてお礼を申し上げます。

津島市健康福祉部 高齢介護課
在宅医療連携グループ